

2019 年度先端錯体工学研究会（SPACC）年会

日時：2019 年 8 月 9 日（金） 13：00

会場：岡山理科大学 50 周年記念館 4 階

特別講演

船橋靖博（大阪大学理学研究科）

「生体金属機能を模倣する錯体工学の最前線」

天尾 豊（大阪市立大学 複合先端研究機構）

「生体触媒を利用した二酸化炭素の物質変換」

招待講演

折田明浩（岡山理科大学工学部バイオ・応用化学化）

「ホスホリルエチン： $\text{Ph}_2\text{P}(\text{O})$ 基で置換した末端アセチレンの合成と
 π 拡張化合物への変換反応」

満身 稔（岡山理科大学理学部化学科）

「アクセプター集積多孔性金属錯体に基づく光電荷分離システムの開発」

川本圭祐（金沢大学）

「単一構造の 2 次元モリブデンブルーシートのボトムアップ合成と吸収特性の
分子サイズ依存性」

一般講演はすべてポスター発表といたします。

（学生の講演者を対象にポスター賞の審査を行います）

参加費

正会員 3,000 円（非会員 5,000 円）・学生会員 1,000 円

懇親会 4,000 円（当日会場にてお支払いください）

参加申込：申込者氏名・所属・懇親会出欠を 7 月 22 日までに akashi@ifst.ous.ac.jp までお送りください。

講演申込：7 月 22 日までに、講演題目・発表者・所属・懇親会出欠・申込者氏名・所属機関名・
連絡先メールアドレスを akashi@ifst.ous.ac.jp までお送りください。

講演要旨：先端錯体工学研究会ホームページ（<http://spacc.gr.jp/>）より雛形をダウンロードしていただき、
作成要領にしたがって作成の上、講演申し込み時に添付ファイルとしてお送りください。

